



苗を植えて1ヶ月半ほどすると始まる「枝整理」。横から出てくる余分な枝をすべて手作業で取り除き、つぼみが出るまで本体に養分を集中させるための作業です。

「暑いビニールハウスの中、中腰で行う作業は大変ですが、できるだけ手早く行うことで花にストレスを与えないよう心がけています」と語るのは、二代目としてトルコギキョウの栽培に取り組む伊東さん。

その後も、不要なつぼみや枝を取って整え、理想とする美しい形をめざして育てていきます。何度も手を加えたトルコギキョウは、茎が太く育ち、夏の切花として長く楽しめる大きな花を咲かせることができます。約半年をかけて、伊東さんが手塩にかけて育てた美しいトルコギキョウが花開きます。

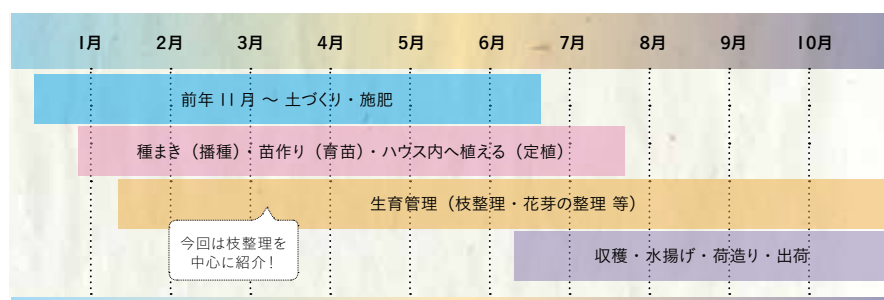
だから、きれい。 長野のトルコギキョウ

作り手の情熱とこだわりが「きれい」の鍵



品種改良が進み、一重、八重、フリンジと花型も多く色も多彩なトルコギキョウは、柔らかな可憐さで心を癒してくれます。花もちするので夏でも長く楽しめます。

だからきれい！ 長野のトルコギキョウの栽培工程



※栽培方法・環境・生産者により異なります。

全農長野ホームページ
長野の花
<https://www.nn.zennoh.or.jp/products/flowers/more/>

スペシャルムービー
長野のトルコギキョウきれいのヒミツはこちら



JA上伊那管内
トルコギキョウ生産者 伊東 雅之さん

長野県はトルコギキョウの生産量日本一。新規就農で若い方も入ってきていますし、もっと花の栽培技術を安定させてクオリティを高めていきたいと思っています。トルコギキョウは栽培期間が長く、手をかけないと良い花が育ちません。今年は猛暑でハウス内での作業は体力的にも厳しいですが、きれいな花を作るために頑張っています。



信州 長野県の美味しい農産物は「三ツ山マーク」をつけて出荷しています。JA全農長野は、信頼される産地を目指し、安全・安心な農産物の供給に努めています。

信州 ながのゲンキ
みらい☆ミカタ
JA全農長野

だから、きれい。 長野のトルコギキョウ

彩りある暮らしを楽しんでほしくて
手をかけ心を込め育てています。



作り手の情熱とこだわりが
「きれい」の鍵！

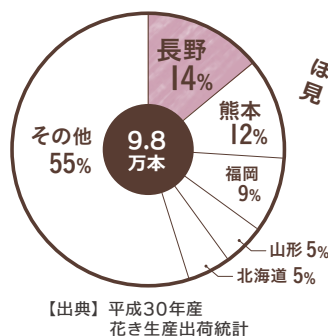
信州 光と風と水のハーモニー
JA全農長野



だから、きれい。 長野のトルコギキョウ

長野県はトルコギキョウの生産量、日本一。
さまざまな品種のトルコギキョウが、
全国に向けて出荷されます。
では、長野のトルコギキョウはどのように
栽培されているのでしょうか。

日本のトルコギキョウ生産量



ぼくと一緒に
見ていこう！



きれいな花が
咲くのかな？

1 土づくり

美しい花を育てるためには、土作りはかせない
作業です。土壌検査をもとに足りない養分や消毒
の必要性などを判断。冬から春先にかけて土づ
くりを始めることで、夏に美しいトルコギキョウが花
開くのです。



2 播種・育苗

種を専用のトレイに播いて苗を育てます。
品種ごとに芽の出方や生長が違いため、
それぞれに気を配りながら水をたっぷり
与えて、しっかりと苗に育てていきます。



ここからぐんぐん
伸びていくよ。

3 定植

育苗した苗を畝に植えていきます。定植した
日から出荷までの約3ヶ月間、毎日気温
や土の乾き具合、品種の違いなどを
確認しながら生育ステージごとに必要
な量の水を与えていきます。



4 枝整理

定植後、一番花が出る前に横から出てくる枝を
すべて手作業で取っていきます。横枝を取るこ
とによって本体に養分を集中させ、しっかりとし
た太い茎のトルコギキョウを育てます。



5 一番花摘み・芽摘み

一番花が出たところで、数枝を残して
もう一度枝整理をし、最終的に4枝残るよう
にします。一番花は摘んで、残した4枝に栄養
を行き渡らせます。孫芽も摘み、最終的に理想の形
になるよう仕立てていきます。



6 収穫・水揚げ

収穫のタイミングは、花の数と咲き具合を
みて判断し、朝の涼しいうちに収穫を終わら
せます。収穫した花は下葉や不要な芽をとり、
草丈を揃えて長さごとに分けていきます。



7 水揚げ・荷造り・箱詰め

一晩水を吸わせて（水揚げ）、鮮度を保つ処
理をし、箱詰めを行います。箱詰めは、10本
ずつに束ねたものを3〜4束ずつ丁寧に1箱に
詰めていきます。



8 検査・出荷

各生産者が集荷場に持ち込んだトルコギキョウ
をひと箱ずつ封を開け、花のボリューム感、蕾の
着き具合、揃い、荷姿等进行检查していきます。
検査でクリアした花だけが全国へと出荷されます。

